

第 55 回宇部興産学術奨励賞贈呈式

2015 年 6 月 15 日(月) 14:00～18:30

ANA クラウンプラザホテル宇部

宇部興産学術振興財団では、自然科学分野の優れた独創的研究をしている者であって、研究費が不足している研究者に対して援助金「学術奨励賞」「渡辺記念特別奨励賞」を贈呈しています。今回で第 55 回の宇部興産学術奨励賞贈呈式となり、受賞者総数は 1960 年の初回から今年で合計 274 名となり、受賞者の多くが専門分野で活躍されています。

第 55 回学術奨励賞の贈呈式は 6 月 15 日、ANA クラウンプラザホテル宇部（万葉の間）にて開催され、120 名を超える出席者で会場は満員となりました。

まず竹下道夫代表理事より、財団挨拶および特別講演講師の九州大学の佐々木一成主幹教授のご紹介が行われました。

贈呈式に先立って、佐々木一成主幹教授による「明日の化学：やさしい水素エネルギー社会の実現を目指して」と題して、特別講演が行われました。

佐々木主幹教授は、やさしい水素エネルギー社会の実現を目指して、燃料電池および水素システムの材料・プロセス開発で、基礎材料研究から実用化に向けた産学連携・実証研究まで行っており、水素エネルギー関連では日本で第一人者です。

引き続き、学術奨励賞贈呈式を行ないました。

今回は応募件数が過去最高の 154 件（従来の最高応募件数は 2012 年度の 136 件）となり、第 55 回受賞者の内訳は、医学分野は 5 名、有機化学分野 3 名、高分子 2 名、無機化学、電気電子、機械システム分野で各々 1 名であり、受賞者 13 名のうち、40 歳以下の若手研究者が中心で 12 名となっています。

贈呈式では、植村榮選考委員長（京都大学名誉教授）より今回の 13 名の受賞者が紹介され竹下道夫代表理事より、賞状と援助金 100 万円（渡辺記念特別奨励賞 1 名には 120 万円）が各受賞者に手渡されました。さらに受賞者から「現在行っている研究に関するこれからの夢」などを中心に受賞スピーチを頂きました。賞状贈呈後のリラックスしたスピーチが多く、満員の会場は笑いと大きな拍手で溢れていました。

贈呈式終了後、ANA クラウンプラザホテル宇部のコンフォートに会場を移し、交流会が開催されました。主賓の渡邊裕志様より、学術研究を援助することによって学術文化の発展に寄与するという剛二翁のご遺志について分かりやすく説明頂きました。

また久保田后子 宇部市長にも来賓として出席・挨拶をいただきました。

和やかな歓談が続き、受賞者と一般出席者の新たな交流が生まれたものと思っております。

交流会も終了し、全ての贈呈式行事が盛況のうちに終了いたしました。

贈呈式 式次第

公益財団法人

宇部興産学術振興財団

特別講演及び第 55 回学術奨励賞贈呈式・式次第

日時 2015 年 6 月 15 日(月) 14:00～18:30

場所 ANA クラウンプラザホテル宇部

開催の辞				14:00
	挨拶	代表理事	竹下 道夫	
特別講演				14:10
	明日の化学 :「やさしい水素エネルギー社会の実現を目指して」 九州大学 佐々木一成 主幹教授【水素エネルギー国際研究センター長】			
休 憩				15:40
贈呈式				16:00
	理事・評議員紹介	事務局長	杉瀬 良二	
	選考委員紹介&審査過程報告	選考委員長	植村 榮	
	贈呈式	代表理事	竹下 道夫	
	受賞者 3 分間スピーチ		受賞者各位	
交流会				17:00
中締め				18:30

1. 財団挨拶 竹下道夫代表理事



2. 特別講演

明日の化学：「やさしい水素エネルギー社会の実現を目指して」

講師； 九州大学 佐々木一成 主幹教授
【水素エネルギー国際研究センター長】



3. 贈呈式



受賞者の皆さん。

前列左から 杉本宜昭（東京大）、米山公啓（広島大）、植村榮選考委員長、
竹下道夫代表理事、渡邊裕志理事、白木智丈（九州大）、中村美紀子（山口大）

後列左から 南豪（山形大）、福間康裕（九州工大）、高坂泰弘（信州大）、堀江貴裕（京都大）、
小野寺玄（長崎大）、野島聡（大阪大）、東田裕一（九州大）

海外出張のため2名欠席 小久保喜弘（国立循環器病センター）、巽和也（京都大）



4. 交流会

